

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	昭和46年度以前	根拠法令・例規等	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律
総合計画	大項目	基本構想	05 生活環境政策「快適・活力」	問 合 先	担当課(室) シホ・イノシシ課 職・氏名 主査 松下 広信 電 話 0869-64-2177 このシート作成に要した時間 1.5 時間
	中項目	基本計画	07 地域の活力を生む産業を振興させるまち		
	小項目	施策	25 魅力ある農林業の推進		
事務事業名		14	猟政事業		

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	備前市内で農林水産物を生産している農家等
目 的 (何のために)	鳥獣による農林水産物及び人畜への被害防止
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	有害鳥獣の数を適正な駆除により、バランスのとれた数に保つことにより、農作物被害の減少を図る

事業の実績		
細 事 業 名	事業の説明	優先度
有害鳥獣捕獲措置補助金	有害鳥獣捕獲措置に係る原材料費の補助(県1/3、市2/3)	○
有害鳥獣駆除事業補助金	有害鳥獣駆除班等に対する活動補助、駆除奨励金等の事務	◎
有害鳥獣駆除事業	駆除班等に狩猟期間以外の捕獲許可を行い、有害鳥獣の駆除を推進する	◎
猟政事務事業	猟友会等の事務	○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決 算 額	事業費	千円	2,590	5,324	34,655
	必要人員	人	0.66人	0.93人	0.97人
	必要人員単価	円	6,671	9,397	7,782
	事業費	千円	9,261	14,721	42,437
	国県支金	千円	1,094	1,146	1,780
受 益 者 負 担 金	千円	3	3		
財 源	千円				
市 債					
その他()					
一 般 財 源			8,164	13,572	40,657
受 益 者 負 担 比 率	%	0.0%	0.0%	-	

結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	量	有害鳥獣捕獲数	507	575	3,176
対前年	%		-	113.4%	552.3%
活動コスト	円		1,498,000	2,255,000	32,005,000
単位当たりコスト	円		2,955	3,922	10,077

事業の成果 (平成25年度事業)					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
鹿・猪の駆除頭数	目標値 (A)				2400
	実績値 (B)		394	481	3066
	達成率 (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	到達目標値
成果指標設定の考え方・式や説明					
鹿・猪の農林水産物への被害が多いことから、年間で鹿1600頭、また猪は多産傾向であることから800頭の捕獲を目標とする。					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の 妥 当 性 必 要 性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	<input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		<input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	<input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている	
効率性の評価	コ ス ト 手 段	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	
有効性の評価	目 的 達 成 度 市 民 参 画 度	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある	
		<input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である	<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	
		<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		
		<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である	<input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである	
		<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している	<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	
		<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい	
		<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

進行年度 (H26年度) の改革改善内容							
状 況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
	○						
説 明	有害鳥獣による農林水産物の被害は継続していくものと考えられるため、備前市鳥獣被害防止対策協議会を設立させることにより、狩猟者の確保・育成や捕獲権・わなの整備等を推進し個体数の減少を図る。						

総合評価	
鳥獣の保護と有害鳥獣による農林水産物の被害防止という相反する観点から事業を進めていかなければならないが、鹿・猪等の数が適正限度数を超過している現状からは、この事業の継続は必要であり被害状況によって拡大していかなければならないと考えられる。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標							
方 向 性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
	○						
取 組 目 標	鹿・猪等の個体数の減少を図り、平成28年度までに農林水産物への被害の20%削減を目指す。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら